

日本經濟政策學會第二回大會記

日本經濟政策學會第二回大會は昭和十六年十一月二十九日及三十日の二日間に亘つて京都帝國大學樂友會館に於て開催された。參會者百二十名、報告者二十八名といふ盛會であつた。東京商大からは赤松、高橋、阿部、内田の四氏が報告し、山中教授は京都商工會議所に於ける公開講演を擔當され、赤松、山中兩教授は夫々商業政策部會、政策原理部會の座長の勞をとられた。本大會の記事は既に本學の板垣助教授によつて、一橋新聞に發表されたし、又本大會の経過及び各報告の要旨に就ては神戸商大の藤井茂助教授が國民經濟雜誌第七十二卷第一號（昭和十七年一月）に於て極めて詳細に然も要領よく紹介されて居るので今更蛇足を加へる必要はない。そこで私は感想記を書くことにする。

今回の大會では二十八名の報告者は政策原理部會、政策總論部會、商業政策部會、交通政策部會、農業政策部會、工業政策部會、金融政策部會、東亞政策部會の八部會に分類せられた。

消 息

雜然と集つた報告を適當に組合せて分類し、二日間で終了する様にプランを樹てることは一方ならぬ苦心のいる仕事である。本大會のプログラムは主催者側の苦心によつて仲々よく按排されてゐた。併し強いて欲を言へば、短時日の裡に餘りに盛澤山の報告を片付けたといふ感がないでもない。報告者としてはなるべく多數の然も各方面の人々に聴いてもらひたい希望があるし、出席者としては出來得るならば全部の報告を聴きたい譯である。勿論、之は到底不可能な相談ではあるが、併し本大會を春秋二回に分割して開催するといふ形式でもとれば幾分兩者の希望が歩み寄ることになるのではあるまいか。更に又、私の報告の經驗から感じたことであるが、私の報告は恐らく部會の分類の都合で農業政策部會に入れられたのであらうけれども、やはり東亞政策部會で報告した方が收穫が多かつたのではないかと思ふ。而して今後は東亞問題に關する報告が段々多くなると考へられるから、之は寧ろ獨立した大會を構成する方が効果的ではあるまいかと考へられる。本大會の成長に伴つて自然に分化する一部門が先づ東亞政策部會に於て見られる様な氣がする。何故に私の報告が東亞政策部會で報告された方が效果的であるかと考へられるかに就て一言して置かう。私の報告題目は一支那農業の根本的難關であつたが、その要旨は一、支那事變の

ため應召出征し、三年間中北支の農村を見聞したが、農村到る所人間が密集し、農村人口密度は極めて高い。此事は文献によつても證明される。二、支那の農村は到る所よく耕されてあつて、新に耕すべき土地は少い。三、支那の耕地は廣大ではあるが、人口は更に大である、従つて一戸當り耕地面積は狭少である、此點が支那農業の根本的難關であつて、日本農業とよく似てゐる。四、支那の農民は搾取されて悲惨な生活に苦しんでゐると傳へられるが、之はマルクス主義的公式にあてはめようとして事實を歪め誇張した議論である。支那農業の根本的難關は人口對耕地の問題であつて、土地兼併による階級對立の問題ではない、謂はゞ問題はマルサス的であつてマルクス的ではない。五、支那の農産物數量は巨大であるが、人口多きため自國民の衣食住のために消費し盡してしまつて輸出餘力は少い、多額の食糧を毎年輸入してゐる有様である。六、支那農業の根本的難關は農村人口過剰にある、この農村人口に如何にして衣食の道を與へるか、支那にとつてのみならず隣邦日本にとつても大きな問題である、といふのであつた。

此報告に對しては京都帝大の大槻教授、柏助教授を初めとして數名の方々から有益な質問があつた。例へば大槻教授からは「支那農村の治安が安定し農業生産が増加する様になれば、食

糧増加以上の速度で人口が増加しはすまいか。そうすれば支那を東亞共榮圏の食糧供給地として期待する譯にはいかなくなり「はすまいか」といふ様な示唆に富む議論が出た。併し此報告が東亞政策部會に於て報告されたならば更に多様な質疑應答が展開せられたことと思ふ。私の報告は支那農業を農村人口過剰の觀點から論じたのであるから、山東省、河北省等の農民離村、滿洲移民等が直ちに問題になる筈である。又、廣東省、福建省等からの南方諸國への流出、即ち華僑の問題も論議せられる筈である。更に又、支那農村が人口過剰であることは反面から見れば人的資源が有り餘つてゐることを意味し、低廉にして豊富な労働力の貯水池とも考へられるのであるから、大陸開發や支那工業化のために如何にして之を利用するかといふ問題も論ぜられる筈である。殊に東亞政策部會には大阪商大の名和統一氏の「支那に於ける工業化の基本問題」といふ報告もあつたのであるから、私の報告と組合せたならば報告者も出席者も共に得る所がより多かつたことと思ふ。

自分の報告を例に出して甚だ恐縮であるが、卒直に所感を披瀝した次第である。次の大會のプラン作製に當つて何等かの參考になれば幸甚之に過ぐるものはない。(阿部源一)